



第2660地区

ガバナー 高島 凱夫

2012~2013年度 国際ロータリー会長 田中 作次

創立 1970年 9月 26日 例会日 毎週金曜日 12:30

摂津ロータリークラブ週報

SETTSU ROTARY CLUB

Club Weekly Bulletin

- ・事務局 〒566-0001 摂津市千里丘7丁目9-31 コカ・コーラウエスト(株)千里丘オフィス6F TEL06(6330)2267(事務局直通)
http://www.settsu-rc.gr.jp E-mail:info@settsu-rc.gr.jp
- ・例会場 〒565-0826 吹田市千里万博公園1-5 ホテル阪急エキスポパーク TEL06(6878)5151
- ・役員 会長 横田 聡 副会長 益田 光三 幹事 東谷 弥八郎

本日の例会第 2055 回 1月25日

- ◇ソング「われら日本ロータリアンの歌」
- ◇ロータリー勉強会
会員委員会 担当：岩城会員

今週の動き

次週例会予定 2月1日

- ◇月間卓話「世界理解月間」
国際奉仕委員会 疋田委員長

例会日の出席	会員数	出席免除数
	39名	7名
1月18日	出席数	出席率
	29名	80.56%
前々々回の修正	欠席数	内 MU数
	11名	9名
12月21日	修正出席率	
	94.59%	

会長の時間

1月18日

横田 会長

先週の新年例会・家族親睦会では、ご来賓、会員そしてご家族の皆様にご多数のご出席をいただき、盛大に開催することができました。ありがとうございました。9日（青年会議所）、10日（ライオンズクラブ）、11日（当クラブ）と3日連続で新年会がありましたので、無事終わってホッとしています。さて、昨年12月4日にGSEチーム受け入れ実行委員会が開催され、私が出席してきました。今回はドイツ・ハンブルクの1890地区との交換になります。期間は今年3月30日に来日、4月30日に帰国の予定です。このうちIM第1組と第2組、20クラブで3月31日から4月6日までの1週間を担当します。今回の会議は各クラブの役割分担を決める会議で、抽選の結果、当クラブは団員のフィリップ・ポップ氏の4月2日の職業研修を担当することになりました。

GSE (Group Study Exchange : 研究グループ交換) プログラムはロータリー財団のプログラムの一つで、事業や専門職における経験の浅い25~40歳の男女に、文化と職業に関する独特な交流の機会を提供するものです。また、ロータリアンではない専門職従事者からなるチームに、異なる国のロータリー地区へ4週間から6週間の交換旅行をするための旅費を補助するものです。そして、ロータリアンであるチームリーダーが各チームを率います。

当クラブが担当するポップ氏は28歳の男性で、現在、家具職人になるための修行中ということです。日本の木工の工芸品や芸術品についての造詣を深めたい。美術館や展覧会、展示会に行きたいとのこと。今後、担当者の方と検討を進め、他クラブとも調整をしながら研修内容を決定していきますが、また皆様にご協力をお願いすることになると思いますのでよろしくお願いたします。

四つのテスト

- ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

幹事報告

東谷 幹事

1. IMのチラシを配布いたしましたのでご確認ください。
2. 本日例会後、理事会を開催いたします。

理事会報告

東谷 幹事

1. 寺原会員転勤のため1月末で退会し後任の方が入会する件
寺原会員退会の件
安藤茂弘氏入会の件 承認
2. 入会の件
宮田鐵夫氏入会の件 承認
3. 米山記念奨学会下半期普通寄付の件
2,250円×会員数(39名)87,750円を本会計より拠出 承認
4. 忘年会収支報告の件
収入 290,000円
支出 356,189円
収支 -66,189円 親睦委員会費より拠出 承認
5. 家族親睦会の件
2月16日(土)城崎温泉 西村屋 日帰り旅行
会費:会 員 12,000円
ご家族 10,000円
6. 国際奉仕委員会マカオ研修の件
クラブ公式行事ではなく、同好会行事として実施する 承認
7. ソウル南大門RC訪問の件
創立記念例会にあわせて訪問する
5月に訪問予定 承認
8. 摂津市社会福祉協議会組織参加費の件
2,000円を国内奉仕委員会費より拠出 承認
9. その他
①3/31開催の「摂津市民と自衛隊の集い」を後援する 承認

本日のゲスト

陸上自衛隊中部方面総監部

広報室長 小倉 博之 1等陸佐

委員会報告

§ 広報委員会

下村 委員長

＜JR大阪駅電子広告実施(第2回目)のご案内＞

実施期間 2013年1月21日(月)～2月17日(日)

実施時刻 午前6時から午前0時まで

実施場所 JR大阪駅東口改札前北側及び南側柱

また、1/19(土)開催の地区広報委員長会議に提出する資料(今年のクラブ行事一覧表)を皆様に配布させていただきました。

卓話「国連PKO活動について」

ゲストスピーカー: 陸上自衛隊中部方面総監部

広報室長 小倉 博之 1等陸佐

担当: 辻井 会員

本日は国連平和維持活動について話しをさせて頂きま

す。
約20年前に自衛隊の部隊が初めて海外に派遣されて以来、自衛隊はいろんな国に派遣され、どれも同じような活動に見えるかもしれませんが、法的根拠からは3種類に大別されます。

第一に、国連から部隊の派遣を要請されてこれに応じる形態があり、これは国際平和協力業務と定義しております。この後お話しするのはこの活動です。

第二に、自然災害が発生した際に被災国政府からの要請に基づき、つまり日本と相手国との二国間関係に基づいて実施する、国際緊急援助活動があります。

第三に、イラクでの活動を含めた、特別措置法に基づいて実施する活動です。国際平和協力業務と国際緊急援助活動についてはこれを実施するための法律が制定されていますが、この活動についてはそのような法律は無く、その都度特別措置法等を作って対応しております。

日本は地震が多く発生しますし、現在は南西の方で色々起きていて、国内でも大変なのですが、グローバル化によって世界のどこか一地域の情勢が他に波及するようになっていきます。例えば、石油の供給を中東に大きく依存している中、ここで情勢不安定となって石油価格上昇となればわが国の経済にも相当なダメージとなる可能性があります。このため、グローバルな安全保障環境の改善は、国内の状況に関わらず必要であり、国際平和協力は重要なものと認識されています。現在は世界各地に国連ミッションが展開しておりますが、このうち自衛隊が現在コミットしているのはハイチと南スーダンです。

国連PKOについては、危機への迅速な対応が難しい枠組みとなっております。これは、国連は自前の部隊を持たず、加盟国に要請して部隊を提供してもらう必要があるのが一因です。また、部隊を展開するためには安全保障理事会がその法的根拠として安保理決議を出さなければなりません。この内容を安保理が審議するのに時間がかかりますし、その案文は英語以外の国連公用語、例えば中国語のバージョンまで作成しなければなりません。このため、実際に部隊を展開するまでにはかなりの時間を要するのです。

また、現在の国連PKOの重点は完全にアフリカに置かれています。私が国連で勤務していた際、計14名いた担当者のうち11名はアフリカのミッション担当でした。古くからあるキプロス等のミッションに比べると規模が大きく、厳しい環境下での活動となる傾向はアフリカで顕著です。

さらに大きな特色としては、「国家間」から「国家内」の活動にシフトしていることが挙げられます。東西冷戦の頃には国家対国家の紛争が終結した後に設定される中立地帯で国連部隊が停戦監視を実施する形態が主流でした。現在ではどこかの国家が内戦等で破綻状態となり、その国家の領土内に国連部隊が入り込んで活動する傾向にあります。

このことからいくつかの変化が生じています。第一に、和平プロセスを履行しない勢力が存在することがあります。国家対国家の紛争は正規軍同士での戦闘となるのに対し、内戦ではいくつかの勢力が乱立しがちです。このような中では、全ての勢力を含めること無く和平プロセスを立ち上げざるを得なかったり、内心では和平プロセスに反対なのにやむを得ずそれに調印するグループが存在する、というケースもあります。和平プロセスに反対しているグループにとっては、和平プロセスを進めるためにやってくる国連部隊は敵性勢力であり、攻撃の対象となります。このため国連部隊にも広範なマンデートや強力な装備が付与されるようになり、攻撃ヘリから武装勢力のキャンプにロケットを打ち込んだり、国軍の戦闘に迫撃砲をもって協力するというこもやるようになっていきます。第二に、国家が疲弊しているため、その再建を総合的に支援しなければならず、国軍の訓練や国軍と武装勢力間の和平の仲介、総選挙に際しての投票用紙の警護を実施することもあります。

第三に、対象となる国家の領土内で活動するため、公園の整備やパソコン教室といった、民生支援も実施するようになっております。

国連PKOに多くの人員を出しているのはインドやパキスタンです。欧米の先進国はイラクやアフガンでの作戦に努力を傾注しており、一方、装備があまりに旧式だったり、整備不良でまともに動かないような後進国からの部隊提供は国連側が断るため、このような言葉があるかどうか分かりませんが、中進国といった感じの国からの参加が多くなっています。ただし、このような国では施設部隊や航空部隊の提供は厳しいため、日本に対しては施設部隊等の提供への期待が高いのです。

次に、国連から自衛隊がどう映っているか、ですが、やはり仕事の質が高いので、これまでの活動は高く評価されています。また、国連PKOの主な場所であるアフリカにおいて日本は植民地支配等で手を汚しておりませんし、キリスト教徒からもイスラム教徒からも強い反感を持たれていないため、派遣先やその周辺から自衛隊部隊の展開に反対されにくく、国連としては日本に自衛隊の派遣を要請しやすいです。そして、自衛隊というよりは日本人の特性でしょうが、例えば「20日までに橋をかけます」と言えば、必ずその工期を守りますので、あてにしやすいのです。さらに、これは国連としては大きな問題と捉えているのですが、派遣隊員の下半身のスキヤンダル、例えば食料と引き換えに現地の女性に性的搾取を行う、というケースが時々起きています。このようなことでは作戦が成り立たないため、下半身のスキヤンダルに対し国連は絶対に許容しないとのスタンスを取っていますが、PKOに行ってもこんなことをする者は自衛隊にはいないので、この点でも自衛隊の部隊には安心感があります。最後に、自衛隊の規律は最高レベルとの評価を得ています。車両の配列から天幕の張り綱に至るまで直角・平行に揃った宿営地を構築するのは自衛隊くらいであり、ゲートで警備に当たる隊員の勤務も極めて厳正です。ハイチでは国連部隊司令官が各国の部隊長に「参考のために日本部隊の宿営地を見ると良い」と指示したそうです。

最後に、自衛隊にとっての国連PKOですが、国連の要請に基づくため、派遣そのものに反対する人は比較的少なく、国内の政治的ハードルは低いです。また、当初の間を除いて糧食や燃料の補給を国連に依存可能ですし、現地の人と交通事故を起こした際の賠償交渉も国連がカバーしてくれます。

一方で、国連の介入そのものが制約要因となる面はあります。まず、派遣人員数は国連に決められてしまいます。また、現地で活動する際には、国連の統制を受けるため、自分たちでどんな仕事をするかを定めることはできません。ミッションの司令部から必要な命令を発出してもらうことが必要です。そして、PKO5原則により、停戦合意の成立や紛争当事者による合意が条件づけられているのですが、設立されたばかりのミッションでは、これらが本当に大丈夫なのかを評価するのが難しく、新規ミッションへの派遣は微妙な側面もあります。

以上、経験に基づいて話をさせて頂きましたが、いろいろな所へ行って見て、本当に良かったと感じています。やはり国連部隊が展開しなければならない国の状況は大変で、たまたま生まれた国が違うだけでこのような苦しい経験をしなければならないのか、と感じました。そして、日本人として生まれたことを有難いと、心から思うようになりました。私は、若い幹部に教育する際は、PKO等派遣の話があった場合は喜んで受けるように薦めています。それは、自衛官としての経験を積むということのみならず、日本人として、日本に生まれたことが如何に幸せであるかを理解する一端になるからです。ご清聴有難うございました。



ニコニコ箱

横田会長：新年例会・家族親睦会では皆様に大変お世話になりありがとうございました。

郷木会員：写真をいただいて。

疋田会員：森川さんに写真を頂いてありがとう。

稲垣会員：新年おめでとうございます。本年もよろしく

岩城会員：本当に寒いですね。例会に出席してホットして。

和泉会員：・小倉広報室長の卓話を頂いて。

・森川会員に写真を頂いて。

益田会員：写真を頂いて。

宮野会員：森川さんに写真を頂いてありがとうございました。

森川会員：新年例会を欠席して。

中川会員：森川さんに写真を頂いてありがとうございました。

中尾会員：写真ありがとうございます。

辻井会員：小倉一佐に卓話講師としてお越し頂きありがとうございます。又、新年例会欠席して。

ニコニコ累計

748,000円

運営委員会会報担当

枠内は今回担当者

宮野会員

郷木会員

青木会員

川脇会員

國澤会員

中尾会員